

びるっぱ

Vol.476 2026. 3

医事電算センター 開設

表紙の写真

令和7年度 四国ブロックDMAT 実動訓練参加

栄養で支えるがん治療 ～最終回～



近森病院 近森リハビリテーション病院 近森オルソリハビリテーション病院 からのお知らせ

ゴールデンウィークは
暦通りの診療体制
です。

| 4月 | | | 5月 | | | | | | |
|------------|--------------------|------------|-----------|-----------|--------------------|--------------------|--------------------|-------------------|-----------|
| 28日 (火) | 29日 (水) 昭和の日 | 30日 (木) | 1日 (金) | 2日 (土) | 3日 (日) 憲法記念日 | 4日 (月) みどりの日 | 5日 (火) こどもの日 | 6日 (水) 振替休日 | 7日 (木) |
| 通常診療 | 救急体制での診療 | 通常診療 | 通常診療 | 通常診療 | 救急体制での診療 | 救急体制での診療 | 救急体制での診療 | 救急体制での診療 | 通常診療 |

医事電算 センター開設

管理棟7階

2026年1月1日



医事支援部 部長 兼 医事課 課長 竹崎 智博 たけざき ともひろ

高知県内では少子化が急速に進み、医療事務を志望する人材は年々減少しています。県内の専門学校も現在は2校のみとなり、入学者数も年間10名程度にとどまるなど、医事課員の採用は年々難しくなっています。

今後を考えると、限られた人材を最大限に活かし、効率的に業務を運営していく体制づくりは避けては通れない課題です。

こうした背景を踏まえ、将来を見据えた業務効率化と、次世代を担う人材育成を両立させる取り組みとして、入院・外来の事務機能を統合した「医事電算センター」を開設することになりました。

「ベテランの経験」を「若手の力」へ ～次世代スペシャリストの育成へ～

これまで医事課は、入院と外来の担当が別フロアに分かれていたため、日常的な情報共有や入院と外来の連携に課題がありました。新センターでは、両担当が同じフロアで業務を行うことで

連携を強化し、医事業務全体を俯瞰しながら幅広く経験できる体制を整えます。

特に、若手職員がベテラン職員と日々の業務を通じて関わる環境を整えることで、コスト意識や保険請求業務に対する責任感を養い、次世代を担う医療事務人材の育成につなげていきます。

「遠隔会計」の導入による業務効率化と集約化

業務の集約化は大きな効率化にもつながります。現在、外来診療は複数の建物やフロア毎で行われており、スペース上の制約から、それぞれに会計スタッフを配置する必要がありました。遠隔会計を導入することで「外来センター」「ER」「化学療法センター」「総合心療センター」の会計業務を新センターに集約し、一元的に担うことが可能となります。これにより、人員配置の適正化と業務の効率化を図ります。遠隔会計は2026年4月中旬より外来センターから順次開始し、段階的に対象を拡大していく予定です。

将来的には、グループ全体の医事会計を支える中核拠点として発展させ、病院経営を支える医事体制の確立を目指していきます。

近森会グループ **献血**

400ml限定

3/26(木) 12:30~17:15

場所 近森病院 総合受付
玄関前駐車場

昨年度の
上位参加者の



※2025年度の献血上位参加者表彰も同日開催予定。

令和7年度 四国ブロック DMAT 実動訓練

2025年12月13・14日 / 愛媛県

次はもっと！
改善を具体的な学びに

近森病院 救急科 立道 佳祐
たてみち けいすけ



水害想定シナリオによる広域合同訓練

令和7年度四国ブロックDMAT実動訓練に参加しました。四国各県のDMATや県・保健所など多くの組織による合同訓練で、水害を想定したシナリオのもと、参集拠点から活動拠点本部、支援先病院へ実際に移動しながら訓練が進められました。

実動訓練を通じて得た学びと今後の展開

当院からは立道(医師)、瀧本(看護師)、松本・池田・名島(業務調整員)の5名で参加し、EMIS(広域災害救急医療情報システム)を活用しつつ、浸水により機能停止した支援先病院の職員の方々と共に、ライフライン復旧の調整や補給の要請、とくに時間的猶予のない透析患者の受け入れ調整などに取り組みました。改善すべき点も多くありましたが、それらを振り返ることは具体的な学びにつながり、「次はもっと上手くやれる!」という自信(≠過信)へと繋がっています。懇親会を含め多くの人脈にも恵まれ、終始充実した訓練となりました。

今回は高知県が開催地となるため、何らかの形で貢献できればと思います。参加の機会をいただきありがとうございました。

約20年使用し古くなった隊員ベストを昨年11月に更新。今回初着用し訓練に臨んだ。左から、池田業務調整員、瀧本看護師、筆者、名島業務調整員、松本業務調整員。



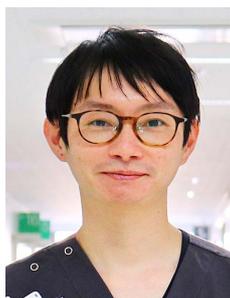
資格取得

胃腸科専門医



近森病院 消化器内科 科長 北岡 真由子 きたおか まゆこ

胃腸科専門医



近森病院 消化器内科 科長 梅下 仁 うめした じん

講演会

地域医療連携推進法人
高知メディカルアライアンス講演会

『2026年度診療報酬改定の動向
～入院・外来・在宅のポイント～』

株式会社 仲野メディカルオフィス
代表取締役 仲野 豊先生
なかの ゆたか

〈2026年1月29日/
管理棟3階会議室〉

（写真右）前列左から、入江理事長、講師
仲野先生、近森相談役、後列左から、川井
院長、特定医療法人竹下会 竹下理事長、
医療法人防治会 楠木理事長、竹崎医事
支援部長



栄養で支える **がん治療**

近森病院 臨床栄養部

最終回

近森病院 臨床栄養部
管理栄養士 主任
田部 大樹
たべ だいき



がん治療中にも発症する 嚥下障害



今回は近森病院のデータから、がん治療中に生じる問題点
についてお話します。

みなさん、食べ物が飲み込みにくくなった経験はありません
か？食べ物が飲み込みにくくなり、食事の形に制限が生じる
状況を嚥下障害といいます。嚥下障害は生活の質を低下させ
ることが知られていますが、手術をきっかけに嚥下障害を発症

することがあるので、がん治療中の患者さんにとっても他人事ではありません。

近森病院で手術を行った患者さん（一部がんではない患者さんも含む）を対象に調査を行っ
たところ、入院前から体重が減少していたり痩せている患者さんでは、退院時までには嚥下障害
を発症するリスクが3.4倍あったという結果が出ました。

これは、術後の安静や食事摂取量の減少、手術のストレスにより全身の筋肉量と一緒に嚥下
に関わる筋力が低下することや、口腔内の状況などが関与することが他の疾患の例でも知られ
ています。手術を受けるがん患者さんは、手術前だけではなく術後もしっかり運動をすると同時
に栄養を十分に摂ることが重要になってきます。

入院中は、手術前後に
しっかり運動&栄養摂取で
嚥下障害発症を防ぎましょう



歳時記

保育室そるとの
豆まき
(2月3日・節分)

保育室そるとに陽気な鬼
さんがやってきました。
仲良くできたかな？





Bonn大学病院(留学中)／循環器内科
菅根 裕紀 すがね ひろき

vol.4

—— ドイツで考えた「上手さの定義」 ～90点と80点に見る医療文化の違い～ ——

天国と地獄?季節のコントラスト

どうも、循環器内科の菅根です。先月号でも書いた通り、ドイツの冬は寒いです。毎日最高気温がマイナスで雪も降るので、風が強い日は体感温度がとんでもないことになっています。さらに、日照時間が短いので寒くて暗いという悪条件が重なっています。昨年9月と今年1月の家のベランダの写真で比較してみると、まるで天国と地獄のように見えますね。

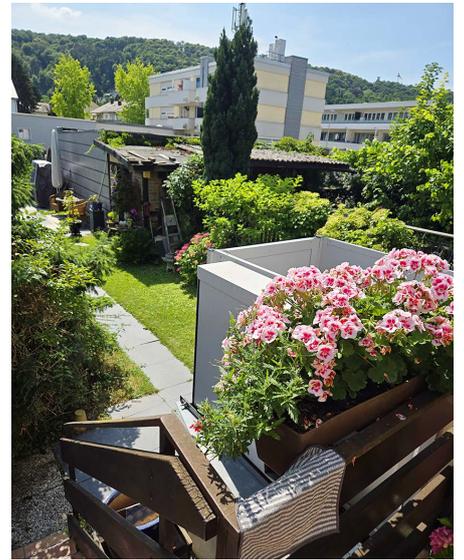
90点を目指す日本、80点で数を取るドイツ

さて、先月説明しきれなかった、手技の“上手さの定義”の違いについてです。例えば、1時間で80点くらいの治療の完成度に到達したとします。臨床的には60点以上なら成功とみなされると仮定します。日本人はさらに2時間頑張って90点にしようとしています。そして、時間とコストがどうあれ「安全に90点以上の手技をできる人」が優秀と言われます。逆にドイツ人は、その1時間で手技を終えます。なぜなら、そこから2時間かけて90点にしても1時間あたりの点数効率が悪くなるからです。その代わりに、残りの2時間でさらに2人の治療を行い、そこでも1時間で80点を狙います。ドイツでは「効率的に80点を取れる人材」が優秀とみなされます。

手技評価に現れる医療文化の違い

患者さん一人から見れば日本人の方が優秀ですが、医療経済や医療資源という観点からはドイツの方が優秀です。どちらがいいとは一概には言えませんが、文化と環境の違いが大きいのかなと思います。

ではまた次回。日本の冬がそう厳しくないことを祈っています(Viel Glück!)



自宅のベランダ。上が昨年9月、下が今年1月。

「笑顔で働く」って
こういうこと。

リアル体験!

Internship
看護部
インターンシップ
【通年受付中】

笑顔の私、最強説。

近森会グループ
看護師採用試験 2027年度

| | | | | | |
|-------------|---------------|-------------|-------------|---------------|-------------|
| 第1回 2026 | 4/25 SAT 土 | 26 SUN 日 | 第2回 2026 | 6/27 SAT 土 | 28 SUN 日 |
| 第3回 2026 | 8/29 SAT 土 | 30 SUN 日 | 第4回 2027 | 1/30 SAT 土 | 31 SUN 日 |

●上記お問い合わせ先／TEL:088-822-5231(代表) メール:kango@chikamori.com

近森会グループ 災害対策!

テーマ
3

保育室そるとの 災害対策



“もしも”に備えて、
今日も子どもたちを守っています

近森病院 ICU病棟 看護師長/
災害対策ワーキング 齋坂 美賀子
さいさか みかこ

当院は災害拠点病院として、災害時にも医療をとめない体制づくりを進めています。

保育室「そると」においても、「そると」の運営委託先である四国管財株式会社様が、当院と連携し、子どもたちの安全確保に力を入れてくださっています。

毎月、火災訓練と災害避難訓練を交互に実施し、緊急時に備えた安全管理を徹底しています。地震などの大規模災害発生時には、同じ棟にある管理部から速やかに応援が入る体制が整っており、複数の職員で子どもたちを守る仕組みとなっています。

災害時にも安心して子どもを預け、医療に専念できるよう院内全体で取り組み、来たる災害に備えていきます。



看護学校通信

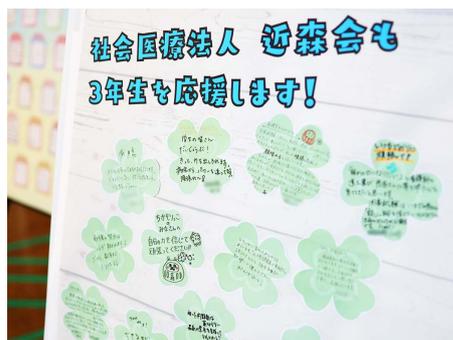
国家試験に向けた応援メッセージを掲示

近森病院附属看護学校 事務長
中山 潤一 なかやまじゅんいち

2月の看護師国家試験を前に、年明け～試験前の期間、看護学校1階のラウンジに応援メッセージボードを設置しました。教職員や在校生、関係者から寄せられた励ましの言葉が、受験を控える学生たちを勇気づけてくれました。

色鮮やかなカードには、「自分を信じて」「全員で合格を」といった温かな激励の言葉が並び、日々研鑽に励む学生たちにとって、この場所が束の間の休息と活力の源になったことと思います。

学校全体で、国家試験という大きな目標に向かう学生たちを応援してきましたが、いよいよ成果が試される時。看護の未来を担う彼らの挑戦が爽り、学生全員から“サクラサク”報告が聞けることを信じています。



近森で、学ぼう。

OPEN CAMPUS

2026

3/28

SAT
土

詳細は [近森看護学校](#) で検索、
または右のQRコードより公式ホームページをご確認ください。社会人や保護者の方の参加も大歓迎です。



3,000とおりの誇れる仕事

募集職種

- 医師
- 診療放射線技師
- 看護師
- 臨床検査技師
- 介護福祉士
- 臨床検査技師
- 救急救命士
- 事務

募集中!

詳しくは、近森会グループHPの採用ページをご覧ください。



熱烈応援 昇格人事

「みんなに選ばれる近森会」
を目指して

近森会 理事長補佐 兼
近森病院 消化器外科 主任部長
塚田 暁 つかだ あきら



この度、2月1日付で理事長補佐を拝命いたしました。日頃より、各部署の皆さんには診療業務に対し多大なるご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

身に余る大役であり、その責務の重さを強く感じております。これまで私は主に臨床の現場に身を置き、患者さんと向き合うとともに、多職種の皆さんと協力しながら診療にあたっていました。今後は、そこで得た現場感覚や課題意識を活かし、理事長の方針や近森会の理念を、より実効性のある形で組織全体に浸透させていくことが私の役割であると考えております。

医療を取り巻く環境が大きく変化し、病院経営や人材育成、働き方改革など多くの課題に直面しておりますが、患者さんや職員に「選ばれる近森会」を目指し、誠心誠意取り組んでまいりたい所存です。質の高い医療を提供し続けるため、そして皆が誇りを持って働ける環境を整えるために、微力ながら全力を尽くしてまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

いただいた
温もりを
次世代へ

看護人事部
看護師長
中井 有里
なかい ゆり



新卒時代に社会人のいろはを学んだ近森会に、この度帰って参りました。かつての同僚や先輩方からも温かいお声をかけていただき、当時の熱量を懐かしく感じております。この度配属になりました看護人事部では、これまでのリエゾンナースの経験をもとに、新人看護師の皆さんのサポートに努めたいと考えております。よろしくお願いいたします。

約1年経ちました 初期研修医 1年目 **山本 駿** やまもと しゅん

初期研修医としての生活がスタートしてもうすぐ1年が経過します。あっという間の毎日でしたが、昨年の国家試験が遠い昔のようにも感じます。毎朝病院に来て仕事をするにもだんだん慣れてきました。学生時代よりも大変な毎日に、日々奔走しております。休日はちゃんとありますが、昔どうやってダラダラしていたのか思い出せなくなってきており、「私も社会人の仲間入りをしたのかな」と思う今日この頃です。

仕事の方はといいますと、毎日汗だくになりながら「すみません」と「ありがとうございます」を叫ぶ日々を過ごしています。今は9:1くらいの割合ですが、少しずつ「すみません」が減るよう日々努力いたしますので、今後もよろしくお願いいたします。

ハッスル研修医



CHIKAMORI
DX
推進中!

業務用
スマートフォン
有償トライアル
運用開始

2026年2月2日



ER・救命救急病棟・5B病棟・5C病棟・カテ室・内視鏡センターおよび、その部署での診療に関与する職員が携帯(約260台)。

施設認定



日本乳癌学会認定施設



リレーエッセイ

毎月の楽しみ

近森病院 ICU 看護師
山本 智晶 やまもと ちあき



職場で出会った先輩や同期と「テーマを決めて遊ぶこと」が、私の毎月の楽しみです。新人の頃は、仕事以外の時間でもこんなに仲良くなれるとは思っておらず、今の関係をとても嬉しく感じています。

写真は、ハロウィンで『ひつじのショー』に仮装したもの(2024年版)と、紅葉の中で遊んだときのものです。少し変わったことでも、ノリよく一緒に楽しんでもくれるので、毎回最高に楽しいです!今年のハロウィンは、もっとクオリティの高い仮装をしたいと今から考えています。

季節ごとの行事を楽しみながら思い出を増やしています。「次は何をして遊ぼうか」と話し合う時間も含めて、とても大切なひとときです。



私の趣味

ハンドメイドでほっこり

近森リハビリテーション病院
3階病棟 看護師
川村 真由美 かわむら まゆみ



特に裁縫等を習った訳ではなく独学ですが、若い頃から自分の服(スカートやワンピース)や、子供ができてとお包みやステイ(よだれかけ)などを作っていました。その理由は、他人と違う物、売っていない物を持ちたかったからです。数年前には、殺風景な病棟内に患者さんがほっとするような何かを置きたいと考え、プリザーブドフラワーを作って食堂のテーブルに飾っていました。今の病棟では季節物の手作りのマスコットを作って置いてみたところ、スタッフや患者さん・ご家族が欲しいと言って貰ってくれましたので、調子に乗って作っており、病室のあちこちに同じような干支の馬が置かれているのを見ると嬉しくなります。今は病棟内に何かを飾ることが難しくなりましたが、季節を感じてほっとして貰えるように、何かを作っていきたいと思っています。



まるまる
FREE 私の〇〇 〇〇にフリーワードを入れて
語っていただきました

私の「書道」

近森病院 病理診断科 部長
中嶋 絢子 なかしま じゅんこ



私の趣味は書道…といっても、堅苦しく構えるようなものではなく、筆を持つと気持ちがすっと整う、そんな日常から離れる時間が魅力です。書道の基本に「臨書」という練習がありますが、これは名筆をお手本にそっくり写すこと。音楽で言えば、楽譜を見ながら音楽を奏でるのに少し似ています。



大きな作品は遠いところまで試行錯誤の日々です。

このたび、7人の若手書家が集って開催する「一画展」に出品します。今回の作品展ではそれぞれの作品に作者の意図、解説を添えており、書の奥深さや面白さを感じ、会場まで足を運んでいただけたら嬉しいです。

一画展 (いっかくてん)

3月17日～3月22日

高知市文化プラザかるぼーと
7階第4展示室(入場無料)

バッハやベートーヴェン、ショパンが時代ごとに新しい音楽を生み出してきたように、中国の王羲之(約1700年前!)や顔真卿、王鐸といった書家たちもそれぞれの時代の流行を作ってきました。そんな名筆に触れながら書の奥深さを味わえるのはとても贅沢なひとときです。



作品によっては色のついた紙も使います。

近森
相談役の
ぶらり旅

国家鎮護の神々 鹿島神宮・香取神宮

鹿島神宮
本殿



▲ 水郷の町として栄えた小野川沿いの佐原の町並。



▲ 香取神宮
楼門ろうもん
奥に拝殿、本殿。

3月はじめ、利根川水運の中継基地として栄えた江戸情緒あふれる佐原の町に1泊し、鹿島神宮、香取神宮にぶらりと行ってきました。

神代の昔、天照大御神の命を受けて鹿島神宮、
武甕槌大神は香取神宮の経津主大神と共に
出雲の国に天降り、大国主命と国護りの交渉を成就されました。
神武天皇の東征にも大きく貢献し、大和朝廷による東国支配の拠点として両社が祀られています。

ちなみに、平安時代の927年にまとめられた延喜式神名帳で、最も格式が高い三大神宮は鹿島、香取、ともう1社はどこでしょうか？（答えは6ページの下）



▲ 香取神宮
奥宮

かなめいし
要石
この地は地震が多く、地中の大鯰を抑えるため、両大神は地中深く石棒をさし込み頭尾をさし通した。香取は凸形、鹿島は凹形。

2025年度
職員旅行

新春
伊勢神宮
参拝

2026年
1月16・17日



編集室通信

相談役になって丸2年、やっと理事長交代のゴタゴタも落ち着き、社福理事長や朝の幹部会、NSTカンファレンスなどのんびりやっています。ドンペリ30本をかけた大盛り上がりジャンケン大会が忘れがたく、今年は近森病院開設80周年ですので、忘年会でヴーヴ・クリコ80本をかけた大ジャンケン大会を考えています。 楽隠居

診療数 2026年1月

—— 電子カルテ管理課 ——

● 近森会グループ

外来患者数 16,185人
新入院患者数 1,079人
退院患者数 1,014人

● 近森病院(急性期)

平均在院日数 12.99日
地域医療支援病院 紹介率 108.63%
地域医療支援病院 逆紹介率 403.88%
救急車搬入件数 557件
うち入院件数 330件
手術件数 590件
うち手術室実施 362件
うち全身麻酔件数 250件

「空の架け橋」プロジェクト 進捗報告

2月現在、薬剤部が入る新棟、空中通路ともに鉄骨工事が終わり、新棟と北館が空中で接続されました。ここからは床や屋根、柱や梁などの仕上げ工事に移ります。6月末日完成予定です！

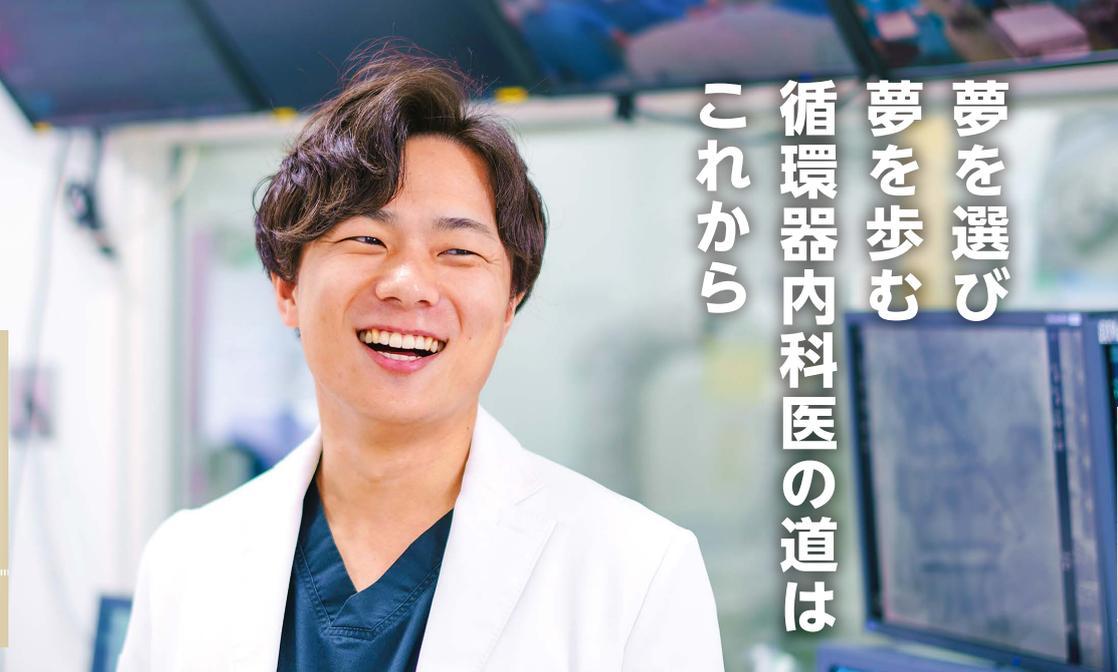


黒川 夢彦

Yumehiko Kurokawa

近森病院 循環器内科 医師

聞き手／ひろっば編集部



夢を選び
夢を歩む
循環器内科医の道は
これから

取材の定刻少し前、プレザー型の白衣を着て登場! いでたちを褒めると「循環器内科の制服なんですよ」(カッコいいでしょ)と胸を張る。なんだか子どもが得意がるような仕草に無邪気さを感じる。

「夢彦」は父親が名付けた。「父が“夢”という字を使いたかったのと、“彦”は祖父から頂いて。患者さんも覚えてくれるし良い名前かな」とほほ笑む。相手の言葉を否定せず、過度にはしゃぐでもなく素直に喜べる。患者さんやスタッフから聞こえる評判の良さの理由がすぐに伝わった。

夢の転換と医師の道

伊野中学校から高知学芸高校へ。当時の学芸高サッカー部は、中学で県大会優勝経験のある同級生もいて強かった。黒川医師もサッカーに明け暮れ、「部活動が第一で成績はそこそこだった」と振り返る。一方で、将来は人の役に立ちたいという思いが漠然とあり、当初は教師を志していた。けれど、中学のサッカー部顧問と高校の担任の先生から「教育学部よりも医学部を目指せ」と背中を



講習会に行った際に循環器内科のメンバーとの一枚。黒川医師は楽しそう!

押しされ、医師の道に舵をきった。

研修医として入職後、循環器内科へ。入局の決め手は科全体に満ち溢れる活気だった。「うちの科は、川井院長のリーダーシップの下、

『若手もどんどん挑戦せよ』という風土があります。高知県における医療の“最後の砦”として患者さんからの期待も大きい。プレッシャーの中、先輩方は知識や技術の習得に貪欲ですし、厳しい指導の中にも愛情を感じます。よく働き、よく学び、よく遊ぶ。この環境でなければ、循環器内科医を選んではなかったかもしれません」。黒川医師にとって近森病院循環器内科は、医師としてステップアップするための理想の舞台なのだ。

“いい子ちゃん”には、ならない

医師として6年目。本人が体育会系だというチームの中堅の入口に立つ黒川医師は、従順な後輩役に徹しているかと思いきや、仕事のこだわりは意外にも“いい子ちゃんになりすぎないこと”だ。その真意を問うと、「近森病院は多職種の『ベン図(※)』の重なりが広く深いと思います。互いの専門領域を越えて助け合う土壌があって」と述べた。だからこそ、専門家の意見を鵜呑みにするだけではなく、疑問があれば職種の壁を越えて意見を戦わせたいのだ。チームを信頼し、最善の治療を追求したいという医師としての責任感と誠実な信念を感じることができた。

実は温泉男子

多忙ゆえ、休日はだいたい寝ているというが、あえて趣味を挙げてもらうと「温泉巡りかも」と答えた。身近なスーパー温泉や、ふらりと県内の秘境系温泉へ行ってリフレッシュ。聞けば全国の名湯もかなり巡っていた。「お勧めは熊本県の黒川温泉。名前が一緒だからじゃないですよ。次に行きたいのは、石川



後輩と行った草津温泉。温泉街から少し離れた露天風呂に向かう途中、眠くて「結構遠くない? どんだけ歩くの?」とぼやいている一枚。

県の和倉温泉かな」。お湯を語るその表情は、無邪気な一人の青年に戻っていた。

素直な魅力と未来の夢へ

温泉と旅行、そして食べることが大好きだという先生はさぞかしグルメだろうと「人生最後に食べたいもの」を尋ねた。じっくり考えた後、「気持ち悪がられるかもしれないけど…」と前置きし、母親が作ってくれた「お弁当の卵焼き」、あと「ナスの味噌炒め」を挙げた。反抗期の時も毎日欠かさず届けられたお弁当。ありふれた日常の中に幸せを感じることができる心根に、患者さんへの寄り添いにも通じる優しさの源泉を見た気がした。

去年は、日本専門医機構認定、内科専門医を取得。今年は循環器専門医取得に向け邁進中。その先には、集中治療の専門資格を見据えつつ、心臓リハビリにも関心を抱いている。

可能性を限定せず、与えられたチャンスを栄養にして学び続ける黒川医師。その努力を継続する限り、夢はどんどん近づいてくることを教えてもらった。

※ベン図…複数の要素の共通点や違いを、円の重なりで視覚的に示した図。

